

風立ちぬ

第25号 令和5年3月10日(金)発行

=田川地区幼・小・中・高書初め書道展=

文責 佐藤正人



今年は色々な応募企画に生徒自ら積極的に挑戦して欲しいと願っていました。「少年の主張」やJA主催の「お米と私」絵画、「硬筆コンクール」、「漢字検定」、「習字検定」への応募など前向きに取り組み、自分の



力を向上させた生徒が増えました。写真の書道も挑戦の一つで、見事な作品を書き上げることができました。令和5年度もチャンスのがさず自分の力を伸ばす取り組みに挑戦していきましょう。

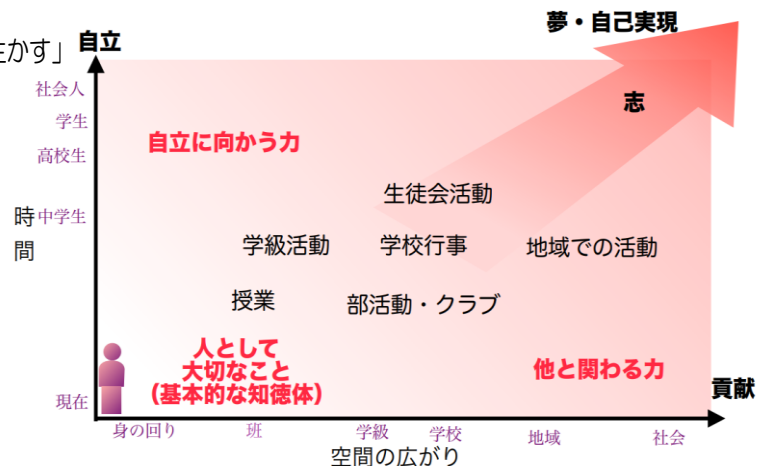
=先生方も勉強会=



3月3日(金)に校内研修会を行いました。話し合いのテーマは4つで、

- ① 「立中が目指す資質・能力を、各教科で確実に育成していくために関連するものが明確になっているか」
- ② 「①が、授業の中でどう位置づけられ、どのような授業を実践できたか」
- ③ 「目指すべきものを、生徒とどのように共有できたか」
- ④ 「①～③をより効果的に行うための方法を考え、次年度に生かす」

でした。教科の特性を生かしながら、次年度も立中生の「未来を切り拓く力」を育みます。



時間-空間グラフにおける未来を切り拓く力



卒業おめでとう～羽ばたけ立中学生～



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを忘れずに、新しいステージで思う存力を発揮して下さい。これからは、「感謝の恩返し」を意識し行動できる年齢になります。

「感謝」の恩返しとは何か。

それは立派な大人になることです。立派というのは偉くなることではありません。人が進むべき正しい道をしっかり歩いていく生き方をすることです。その道は長い道であり、決してまっすぐではありません。それでも一歩一歩しっかり進んでいってください。



進級おめでとう～次年度に向けて～



『私』という存在

「私」と「あなた」と「みんな」

まず、自分を大切にしてほしいということです。自分を大切にすることとは、今の自分、明日の自分、そして、進路も含めた将来の自分の姿を見つめ夢や目標の実現に向けて努力すること、さらに、ものの見方や考え方、心の持ちようを学ぶことを大切にいくということです。みなさんには、まだ、自分自身も気がついていない無限の可能性があります。自分の力を信じ、自らを磨き輝かせる道を進んでください。私達もみなさんと一緒に歩みます。

『あなた』という存在

自分のそばにいる人を大切にしてほしいということです。

これまで、どんな時にもみなさんを見守り、育て、そばにいてくださったご家族の思いを今以上に深く感じ受け止めることができる人になってほしいと思います。また、みなさんは、教室で苦楽を共にする友達、部・クラブ活動の仲間など、多くの人と接して生活しています。楽しい時には、大きな口を開けて笑い、語り合える、そして、苦しいことに出合った時に手を差し伸べ合える、真の友達関係を築いていくことを大切にしてほしい。そばにいる人を大切にすることは、自分を大切にすることに結びついていきます。私達も、みなさんといっしょに感動の涙を流し、悩みを共有しながら歩みたいと思います。



『みんな』という存在

私達は仲間と生活をいっしょにするとともに、地域の多くの方々にお世話になりながら学び続けていくこととなります。学校は、小さな社会です。これからの時代・社会を力強く生き抜いていくために必要な、自ら学ぼうとする力、課題を発見し仲間と共に解決していく力、集団生活の中で培われる社会性、他者を思いやり尊重する心、そして、自分の育った地域・郷土を愛し貢献しようとする心等を、多くの仲間と共に、切磋琢磨しながら自分の心と体の中に育ててほしいと思います。私達も、みなさんが義務教育の課程を終える時に、どんな時代・社会が到来しているのかをしっかりと見据え、学びを支えていきたいと思ひます。

この世に唯一の存在である「私」、晴れた日も、雨の日も支え合う「あなた」、自分の可能性を引き出し、成長させてくれる「みんな」

の存在を大切に、共に歩んでいきましょう。



立川中学校ホームページ

<https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/>

